

《担当者名》教授 / 飯塚 健治

【概要】

高齢化社会を迎え、多種多様な疾患に同時に罹患しているために極めて複雑で難解な病歴を持つ患者の例が増加している。本特論では、近年増加しているいくつかの代表的な疾患について分類、原因、症状、治療方法、予後などについて理解し、将来幅広い分野の疾患を理解していくのに必要な基礎的思考方を修得する。

【学修目標】

日常的に良く目にする主要な症候や症例について、その背景となる疾患や診断並びに治療について概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	説明・資料配付	本特論の目的・内容を理解する。	飯塚 健治
2	症候・症例 1	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
3	症候・症例 2	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
4	症候・症例 3	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
5	症候・症例 4	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
6	症候・症例 5	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
7	症候・症例 6	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
8	症候・症例 7	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
9	症候・症例 8	前回の資料に基づいて症候や症例についての質疑応答ができる。	飯塚 健治
10	まとめ	これまでの症候や症例についてまとめる。	飯塚 健治

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席・学習態度・ディスカッションの内容（70%）およびレポート（30%）により成績を評価する。

【教科書】

なし（必要に応じて資料配付）

【参考書】

なし

【学修の準備】

配布された資料を読み込み、その内容について十分な調査・検討を行い発表や質疑応答に備えること。